

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	豊橋市こども発達センター ゆり組		公表日		令和8年 3月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	8	・利用人数や利用児に合わせてマットを追加しベッドを使用して安全に過ごせるように工夫しています。	・自力移動できる子にとっても狭さを感じているため、活動によっては廊下や別室を使用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	・子どもの人数に対しスタッフの人数が少ない時は、他の部署と連携することで安全に支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・療育に不必要な物は部屋から出して環境を整えています。 ・廊下の避難経路は塞がないようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・生活空間が清潔に保てるように、毎日清掃消毒を行っています。 ・適宜換気を行い、使用後の玩具は適宜消毒しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	・個別に昼寝する時は、情報交流室などの部屋も使っています。 ・排泄介助はパーテーションで仕切るなど、パーソナルスペースを作っています。	・他の部屋を使う場合は予約制のため、事前に予定を立て行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	・週1回会議し情報共有しているが、気になることはその都度情報交換しています。 ・行事を行った際は反省会を行い、次回に向けての改善点などを話し合っています。	・会議や反省会の中で良い支援ができるように努力します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・日々保護者の声を聞くようにしています。 ・必要に応じてアンケートをとり、参考にしています。	・頂いた意見をスタッフ全員で共有し、業務改善を図っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員同士で積極的に意見交換を行い、適宜業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		・第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・内部、外部研修に参加しています。 ・今年度は支援者向け研修会や障害者虐待防止研修会を受講しています。	・職員が研修に参加しやすい環境を整えます。
適切な支援の標	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページに掲載しています。 ・支援プログラムは、教室に掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者のニーズが中心になることが多いが、より具体的にスモールステップになるように目標を設定しています。	・日々の関わりを通して、子ども一人ひとりの実態のニーズを丁寧に把握し、的確な支援につなげています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・職員全体で話し合いの場を設け、内容検討し共有しています。 ・月1回子どもの評価を行っており、目標の確認等を含め共通理解できています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・子どもの個別支援計画を基に反省会や月1回評価を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5		・日々の様子は観察していますが、標準化されたツールは使っていません。今後も個々の変化が捉えられるように努力していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・児童発達支援管理責任者を中心に子どものことを把握しています。 ・5領域の視点を含めた目標、支援内容になるように設定しています。	・児童発達支援ガイドラインに基づき、各項目について丁寧に検討をおこない、総合的な支援内容となるように取り組んでいます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	6	・活動プログラムの立案は保育士が行っています。 ・細かなこと(姿勢、体調、留意点など)は多職種で話し合い専門性を取り入れていきます。	・保育士が中心に行っていますが、日々の反省の中で多職種の意見も取り入れながら、療育の内容を検討していきます。

こ 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・繰り返し行うことも必要だが、個々に合ったやり方を工夫したり、同じ活動でも体調に合わせてやり方に変えたりしています。 ・その日に合わせた内容が実施できるように考え、変更しながら流動的に考えています。	固定化しないように工夫してくれているが、固定してあえて子どもの積み重ねの経験を促す。設定することもある。季節の遊びを取り入れている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別遊びの時間と友達と小集団で関わる時間を設けている。個々の目標に合わせて意識し関わっています。 ・療育の内容および子どもの特性に合わせて、どのように取り組むか職員間で相談しながら支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・毎朝スタッフ間で打ち合わせを行い役割分担、支援内容、目的などを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	7		・職員の勤務時間が異なるため毎日の反省会は難しいが、必要な内容は記録に残し、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	・日々の様子を支援計画の目標にそって、姿勢や体の使い方、気持ちの表出など具体的に記録をしています。 ・会議や反省会の中で記録を確認しながら、支援の見直しを行っています。	・毎日通園記録をし、保護者と共有しています。 ・今後もより良い支援ができるように努力していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・職員全員で月1回モニタリングを実施し、半年に1回保護者と懇談し、支援の見直し等を行っています。	・日々の送迎時にも様子をお伝えしていますが、懇談の時以外でも気になることがあれば早めに相談していけるように努めています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当の児童発達支援管理責任者が参画しています。参画できない場合は電話等で情報をお伝えしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・相談員を通して、連携を大切にしています。関係者会議への参加、必要な連絡・相談を行い、切れ目のない支援体制を構築しています。	・今後も必要に応じて積極的に連携できるように努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・相談員を通じて、他施設と情報を共有し、連携を大切にしています。 ・聾学校と併用しているお子さんについては、保護者と密に情報共有を行い、連携を図っています。	・障害の有無にかかわらず、すべての子どもが平等に受けられる地域づくりをめざし、市内保育園等との連携する方法を検討します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	・年度当初に情報共有の機会を設け、円滑な連携と統一した支援につなげています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	・地域の児童発達支援センターと併行利用している児もいるため、連携をとりながら支援しています。 ・無回答2	・豊橋近隣の市町村の施設と情報共有が十分できていないことが課題と感じています。 ・今後、療育の質の向上を目指した研修も検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	・現在は行っていません。	・今後、交流できる場がないか検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時の対話を大切にし、家庭と事業所での情報共有を図っています。	・送迎時にゆり組での様子を確認しているが、より丁寧に声掛けしたり、保護者とお話できる時間を作るように努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	・家族支援プログラムとして、今年度ゆり組講座を行いました。ゆり組講座は事前アンケートにより保護者のニーズを把握し、肢体不自由児父母の会の協力を得て実施しました。	・事後アンケートを活用し、保護者の関心に沿った講座ができるよう来年度も検討していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	・事務の担当者が契約時に説明しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	3	・個別懇談会で保護者の方と話しをする機会を作り、具体的な目標などを相談しています。	・子どもの代弁者として、保護者の要望や気持ちになるべく聞けるように努めていきます。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2	・送迎時などで、こどもの悩みや相談に可能な範囲で対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	・コロナ以降組講座を中止していたが、今年度から再開しました。 ・今年度は心魂プロジェクトの講演会に参加しました。 ・父母の会はありません。	・遠足、運動会などの場が交流の機会になっている。必要時、職員が仲介となり親同士の交流が図れるようにします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・対応の体制については、他部門にも相談し施設全体で考えるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・年間2回より組だよりを発行しています。 ・SNSを利用し、毎月の行事予定、療育中の様子を月1回写真を送っています。 ・教室に月案を掲示しており、毎日行う内容を周知しています。	・療育中の様子を写真で共有するとともに、行事予定や連絡事項についてはSNSを通じて情報共有しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・契約時、個人情報使用同意書に署名をして頂き、個人情報を適切に取り扱うよう注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・近隣のデイサービスの協力のもと、畑での芋ほり体験を行い、高齢者との交流の機会を持っています。 ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、子どもたちの豊かな感性や言葉の育ちを支援しています。 ・地域ボランティアの方にも参加していただき、一緒に避難訓練を行っています。	・今後も地域の方と交流できるように検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	・教室で各マニュアルが、閲覧できるようになっています。	・各マニュアルの点検・見直しは行っていますが、保護者への周知については十分とは言えないため、今後は分かりやすい形でお伝えできるように検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・月1回の避難訓練や災害を想定し、非常食を食べる機会等設けています。 ・定期的に他部門の職員も参加する避難訓練を実施し、非常時に備えた連携の強化を図っています。	・災害時を想定して、職員だけでなく保護者への伝達方法など工夫し、訓練していきたいと思えます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・利用開始時、医師の情報提供書やアセスメントシートで確認し、職員間で情報共有しています。 ・発作時の対応は保護者に確認し、緊急時に対応できるようにしています。	・予防接種・薬の変更など、今後書式を見直しながら実施していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・アレルギー食の対応はできないため、お弁当を持参してもらっています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・安全計画を策定しています。散歩コースについては交通量や周辺状況を踏まえて適宜見直ししています。またプールの期間は外気温等確認し実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	・避難訓練は月1回実施することを年間予定でお伝えしています。 ・非常食は9食分用意してもらっています。	・今後は災害時の連絡手段など、保護者へ周知できるように検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・クラス内で把握し、速やかに園長に報告しています。また、内容によっては施設全体に周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・適宜研修に参加し、内部で職員研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	8	・身体拘束はしていません。 ・身体拘束適正化のための職員研修を行っています。	